

昭和49年2月1日発行（毎月2回・1日と16日発行）編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課図書広報係

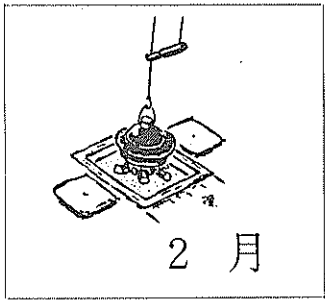
あなたがつくる ☆☆☆☆☆ 広報 **なんこく**

2/11974 No.165
編集・発行／南国市広報委員会

立春にこぎつけた冬の終りのこの月を「如月」(きさらぎ)といいます。衣をさらに着る、という意味と、季節の変わり目の陽気をさらに迎えるので「気更に来たる」という呼び名ができたものと伝えられます。

この季節の変わり目を「節分」といいます。もとは立春の前日だけでなく、立夏、立秋、立冬の前日も節分といって、それぞれその日を祝ったようですが、立春の前日の節分だけは、冬の季節から春の季節に移る公転点。つまり1年の終りに当たるのでとくに重んじられていました。

「福は内、鬼は外、子どものころ、節分の夜に鬼が来たら豆をぶつけて追い払う……という行事がなんとなく神秘的で、空が暗くな



るのを待ちかね、なんべんも戸外のようにすわうかかった思い出をお持ちの人もおられるでしょう。

2月という月は、俗に逃げる月といわれるくらい、日のたつのが早く、あっという間に過ぎていってしまいます。

農家では、間もなく始まる農業への準備など、いそがしくなるのは目に見えてきました。

一般のご家庭でも、お子さんがたの進級、進学から卒業、就職など、心配とよろこびが重なって、いつもの月とは違った気つかれる月でしょう。

とくに進学するお子さんをもつご家庭では、いまの受験制度を、もう少しなんとかしてやりたいと思う気持ちで、なんとも落ちつかない毎日です。

わが町を生きかえす



「なんちゃあしよらんと、ひやいですろう……。こうやって仕事しよたらぬくいすきに。」
なんの変てつもない言葉の底の八十六歳の年輪のたくましさ。
「ここは里改田の三谷シゲラさんのお宅。一昔前ならどこでも見かけたこませ(手動式)も編み機(?)でも編みをしている。
「ハイ……腰がまがって歩いたり、動く仕事はできません。朝めしがすんだら、すぐここにきてすわりますが、なにもせずにあたすわっているのも嫌いですきに、こうやってこもを編んでおります。幸い手はこうこうは動きますから(と、こも編みの動作)。」
おだやかな冬の午後。
三谷さんのすわっている所は、もう日かげになっていました。

◆◆◆今月のページ◆◆◆

★きょうの話題・明日の話題……杉本市政スタート……(3)

市長・議長の新春放談

いま、出発のとき……(4)~(6)

市長・広範な意見で市の未来像を
議長・市議会の状況を市民に公開

ご挨拶・金堂前市長
親子クイズ……特賞に細木慶子さんら10人……(7)

12月定例市議会……一般会計2億3千万円を追加……(9)

お知らせのページ

国民年金の受給権者は現況届を／「わが家の家計簿」の体験談募集／生活再建のために貸付金の利用を／保育所への入所の申請……(10)(11)
児童手当の支給範囲拡大／農業委員の選挙人名簿の申請／お年玉賞品の引換え

■部落解放への道⑬ 解放令のもたらしたものと……(8)

〈こくちばん〉
検診、休日在宅医、不燃物収集など……(12)

今月の顔・過去から明日へ、自分を見つめて……成人式

三三三 1日……最高裁、下級裁判も法令の違憲立法審査権を有する判決(昭25)

杉本市政スタート

一月四日は市役所のご用始め、四十九年の仕事始めとともに、ことしは杉本市政のスタートの日。
午前八時三十分、市役所玄関に市議会議員や職員らが待ちうけるなか、杉本恒雄新市長は市長車から長身をのっさり、いくぶん緊張した表情で初登庁。拍手のなるなかを土居議長、宇賀収入役とたたいて握手をかわしながら、「白息を豊かに吐いて登庁す。俳人市長らしく初登庁の感想を披露して市長のイスにつきました。
幹部職員らの対応でイスのあたまる間もなく、新春の走りぞめ、真新しい白の運動靴にはきかえた市長、収入役、浜田一雄体育協会副会長を先頭に市職員、香長中、齋ヶ池中生徒ら約二百人が新春の町へ健康をふりまきました。

人事などは

現体制を維持

一汗かいたところで午前十時か

ら市職員への市長訓示。
「いま、日本は人心も経済も破壊し、明日に希望をつけない、



市民に期待と不安

地球がどこへ行くかわからないという人間の歴史はじまって以来の大変な時代だ。南国市はそんな中で民主市政を選んだ。その前途は多難で十分覚悟して登庁した。しかし、むかえてくれたみなさんの暖かい笑顔を見て「よし、これ

市民の期待に応えたい。四百余人の職員を一つに合せて四万三千市民に民主市政はこんなにもいいものだということを知らせてもらわなければならない。」と、自分について聞かせるように訓示。
職員を代表して宇賀収入役から

でやれる」と確信した。多くの人が新しい市政への大きな期待と不安をもっている。これは新しいものができたとき必ず起る期待と不安だ。このためにも現体制をくずさず人事やその他の問題でも金堂さんのやった市政を正しく受けつぎ、正しく発展させ、一つ一つ

初仕事は助役 教育長の選任

「市長の意をよく体し、市長を中心に職員一人ひとりがかたいきすなで結ばれ、まろやかな団結で市民の負担に慮えたい」と決意が述べられました。

恒星は雅号

本名は恒雄

杉本恒雄市長は昨年末の市長選挙で、杉本恒星で立候補。当選しました。恒星は俳人としての雅号のため本名の「恒雄」で市政にあたることになりました。
このような例は、他にもいくつありますが、土居選挙管理委員会局長は「立候補の届出は原則として戸籍名ですが、雅号やペンネームなどの方で一般によく知られている場合、選挙長に届け出て適当と認められれば、ペンネームや通称名を使うことができます」と話しています。

例えば、落語家の立川談志、パンパカパーンの横山ノックなどは芸名で立候補。当選してからは本名の松岡克由、山田勇として国会議員になったなどの例があります。

助役・教育長は空席のまま

徳橋一郎助役、利岡富次教育長は、昨年の末、一身上の都合で金堂市長に辞表を出し受理されました。このため杉本市政のスタートは助役、教育長空席のまま。
杉本新市長は辞表が受理されたあと昨年十二月三十日、井口、小

きょうの話題・あすの話題

「右を向いても左を見ても世の中真暗やみじやござんせんか」モノ不足に悪性インフレが導火線となり、「お先真暗」な四十九年は明けた。

灯油、チリ紙、洗剤……。主婦は血まなこ「お父ちゃん」までかり出されて生活物資の確保にほん走とあいなつた。悲しきは庶民なり。

公共事業の繰り延べ、工事入札の不発、物件費の急増何をとつても好材料のない四十九年度予算編成の時期でもある。

そんななかで、市民は杉本市政を選んだ。市の内外の情勢からみて、「杉本丸」の船出は決して「波静か」とはいかない。

暗い世相ならばこそ、年の始めにじっくり社会を行政をみつめてみることも必要だろう。そして、あすの「南国市」について考えてみたいものだ。

市長 広範な意見で市の未来像を

議長 市議会の状況を市民に公開

「すまんけんど対談の時間を早くしてもらえんうか」息せき切つて杉本市長が駆け込んでこられました。

今朝から石油危機に始まった一連のモノ不足、物価対策を……。と県市長会に出席、頭をかかえていたとのこと。土居議長も高知空港対策特別委員会が開かれ、委員とともに県副知事に会いに。なかなか多忙なり。

「会合、来客で便所に行く間もありません」愛称「のみ杉（飲み過ぎ）」の市長もそう述べた。

前金堂市長からの事務引継ぎを一月十七日にひかえ関連事業などを受け継いでいないとき町づくりのプランを聞くのは「酷」との声のあるなかで、恒例の市長・議長新春放談となりました。

の台所にも火の車がおしよせ、四十九年度予算編成をひかえて頭の痛いところ。

「この際、一般の人たちに集ってもらつて物価対策の組織をつくつてみせんか」と司会にうながされて、市長は「引継ぎが終りしだい、その対策を考えています。この問題は、一つには本当に物資が欠乏したところからくる問題と物価が高騰したという問題として、明日の物価がどうなるかわからんという三つの不安が重なつていまして。経済的な問題と経済不安からくる政治不信、物価がいつ上るか、下るかわからん不満です。それから個人が消費経済から節約経済へ、個人の意識の中で切り替えなければならぬ。そういう物質的な面と精神的な面からみあつていっていると思います。そういうことを考えて、現在の不安、動揺を最少限におさえることが大切だ」と基本的な考え方にふれ「洗剤一つをとつても、正しい見通しをたてるように、県



市長 杉本恒雄

だち 発のとき

物価対策の組織も

話題はやはりモノ不足、物価高。市民の台所はもちろん、市

どうい補助の基準は二平方メートルあたりは三万九千六百円、実際には十萬三千七百六十四円かかる。千八百八十円の補助をもらつても二分の一どころか、五分の一にもならない。残りはすべて市民の税金でまかなわなければならないという矛盾、オマケにこの事業、国・県の補助金がもたらえなくなつたというところでチョン。金額、市費と起債で負担することになっています。

三割自治の悩み

「いま、議長さんがいわれたように私も財政を非常に心配しています。県下九市でも四十九年度の予算の組みようがない。というのが一致した意見です。南国市だけの問題ではないですね。戦後はじまつて以来の経済破綻でしょう。これをどう切り抜けるか、国はもちろん県も市町村も一諸になんとかしなければ。議長さんにも随分やつかいをかけると思いますが、全国的な経済破綻の状態を議会にも十分理解していただいて、どう切り抜けるかを一致して考えていきたいと思いますね。」

財政的にみたと、四十七年度の決算では、市税が五億三千万円と全体の一六・一割、自主財源は八億六千七百万円で全体の二七・八割。南国市としての魅力ある町づくりをするにはあまりにも少ない財源。一般に三割自治、一割五分自治といわれるゆえんがここにありませぬ。

無料化は

そんななかで「明るい南国民主市政をつくる会」がだしたすぐできる三つの無料化、杉本市長が一月四日、初登庁したとき「ゴミ袋を無料にする」といったから、もらいたい」という市民がこられたという。「明るい会」が政策を出したときにはゴミ袋は十二円（このうち市民の負担が十円）とし一月からは紙不足などで三十三円に



議長 土居熊治

いま、出

にも要望してきました。県とはつきりしたパイプをつけなければいけませんね。」

四十八年度は二億円の赤字？

議長も「市ではピーマンが促成栽培の七割を占めています。肥料をかうのが大変。また、生産過剰で売値が安い。え、重油、資材が二倍ときていますから、タダ働らきや倒産の心配もできています。」

そして、財政問題にもふれ「来年度は税収の伸びも期待できない。地方交付税も昨年並みでしょう。高知空港、海岸の黒潮ライン、十

市長・議長新春放談

急上昇。今まで通り市民の負担は十円とし残りの二十三円は市が負担してありますが、この価格も予断を許さず、四月からは三十六円八円くらいになるのではないかと公害環境課では頭をかかえています。

議長も「ゴミ袋の無料化で四千万円くらい。これを補助金や起債のつく他の事業に使うと二億円のつく他の事業ができます。問題の残るところですね。」そこで市長も「無料化を公約した時点で千八百万円でしたが、経済の破綻のため四十九年度では約四千七百万円



広報委員らと新春放談（市長室で）

かかることになった」ということは市民は十分理解してくれると思います。議長さんもいわれたように、この財源を他に使うと二億円くらいは必要になりますから、市民感情と事業と、どちらを取るかという問題は、市民が二億円の施設をつくってこれということに

表情のある町づくりへの模索

「いかにすれば市民の期待にこたえられるか。公約の実現はすぐといっても可能、不可能があると思いますが」と司会が切り出す。出席者の中から高知市の氏原市長は競輪の廃止を公約して当選したが、いまだにやっという笑い話も飛び出すなかで、

空港問題

市長の行政的な基本姿勢は「行政とは、木に竹をついだようなものであってはならない。市長は変わっても市民は変わらない。公約の実現に取り組んでいくと同時に、前市長の意向を十分聞いて、継続の意思を公約したくない。手がひら治癒理だと思えますね。手のひらを返したようにやるのは市民を失望させただけで政治の倫理ではない。従って、人事なども前市長の体制でやっています。職員もいきいきとやってくれています。」

抱いていたイメージと大分違っていた。市長は「市長は変わっても市民は変わらない。公約の実現に取り組んでいくと同時に、前市長の意向を十分聞いて、継続の意思を公約したくない。手がひら治癒理だと思えますね。手のひらを返したようにやるのは市民を失望させただけで政治の倫理ではない。従って、人事なども前市長の体制でやっています。職員もいきいきとやってくれています。」

内部行政は

課長に全権限

南園市民憲章がつくられ、市民とともにきれいな町づくりに取り組んでいますが、市民運動の盛り上がりについて「いま、舟入川が大変な状況になっています。三月下旬には川が干涸び、このとき河をきれいにする運動」をして

「舟入川は歴史的にも由緒のある川、兩岸に桜の木を植えたりして、きれいな川にしたいものです。広報がきれいにするキャンペーン運動をやってほしい。」と注文。「市民運動を高めるといふような運動をやっていかないと、よごす人はよごす、きれいにする人はきれいにするでは……。」これは市長がお願いしてやってもうたうのはなくて民間からやろうという市民運動として起ってほしい。市長が金を出さず。そういうことももちろん大切ですが、そこで出席者から「青年団や婦人会が中心になって、市長さんもその日は一日おいでしてもらおう。青年団などがかりを集め、市がトラック輸送なんか引き受ける、という形で盛りあげていくことが必要ですね。」行政が上意下達的に町づくりをすすめるのではなく、主人公であ

る市民とともに「考えながら歩く町づくり」としての市民参加、市民運動が望まれるのではないでしようか。

そのためには、まず行政側の体制づくりが大切。

その構想について市長は「助役を早く決めて、市役所の内部的な事務は助役にまかせ、議長さんと協力して、県の対策に全力をあげたい。そして一人の補佐には助役の補助、もう一人には外交面を担当してもらおう。」

そして課長、係長制度を生かしていくべきと活動できるような場をつくってやれませんか。との質問に「各課のことは全権限を

課長にまかせ、市長は「助役を早く決めて、市役所の内部的な事務は助役にまかせ、議長さんと協力して、県の対策に全力をあげたい。そして一人の補佐には助役の補助、もう一人には外交面を担当してもらおう。」

しかし、三月市議会の一一般質問を待ちかねている議員もあるといわれ「課長に聞いていない、市長に答弁さす」というウワサもあるとか。

「この間、ある青年が議会の議事録をもらいたいとやってきました。議会には公開の原則がありますが、

盗り物語」に敗れ、南園城を開け渡し、激しく音をたてて流れる時勢を見つめながら老兵は去ってゆきます。新しい市政の恵みのもと四万三千人の市民が更に一層の幸福と福祉を受け、誇りある市民となられますよう市政発展を念願し、長年にわたる市民皆様のご協力に感謝をささげ市長退任の挨拶とします。

挨拶

昭和四十一年一月就任して満八年間、南園市政に私の全エネルギーを打込んで、ひたすら邁進してまいりました。その長い道は苦難ではあったが足跡も残り、また自分の執念でもあったので、一面楽しい思い出もなり、くいはありません。更に棒頭一步の躍進を夢みて昨年十二月冬の陣を戦いましたが、「国

前市長 金堂久喜

一千年の伝統を どう生かすか

最後に「表情のある町づくり」南園市でなくてはできない特徴のある町づくりのプラン、十年後の南園市の未来像について、市長は「市は高知県唯一の一千年の歴史をもつ市です。その一千年の伝統をどう受けつぎ、文化遺産をどう



親子のふたご

ご家庭で話し合ってください。答えは今月号の広報に。●もんだい

- ①一月〇日はご用始めの日とともに杉本市政スタートの日。
- ②ゴミ袋は十三円でしたが、ことし一月から紙不足などで三十三円になりました。市民の負担は今まで通り〇円です。
- ③「わが家の家計簿」体験談の原稿しめきりは二月〇〇〇日です。

受けつぐかが一つ。そして、後免町を中心とした都市づくり。三つ目には田園都市の特色をどう生かすか。この三つをどうかみ合わせるかが未来像の課題だと思えますね。」

そこで、四、五月ごろに全課長を集め、一泊二日で大討論会をやる予定とのこと。

「全課長のそれぞれの意見、感想をだしてもらい、そのイメージに従って市のあり方を探りたい。市長のハラだけでは未来像はできませんから、科学者の専門的な意見や議会、職員などの意見も聞いてプランをたて、市民集会などで広範な市民の意見を取り入れて市

の未来像をつくりあげたいと思っています。」

最後に司会が「課長という鶴にどうやってうまく息をのませるか市長の腕、課長教育でもあり、市長学習でもあるわけですね。また、議会運営にしても良い事はよい、悪いことはわるい、と筋を通しませんと。やはり市民のためになることはしなければならぬ、市長にも議会にも市民がひかえていますから。」

山崎孝浩(東吟)戸根ゆきひろ(稲生)今西多忠(大地)小笠原隆之(物部)徳橋美香(久礼田)村上静(岡田)門田理恵(久礼田)

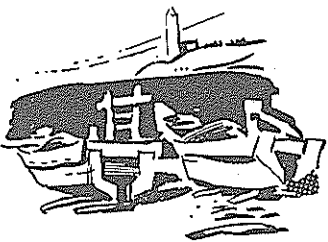
●残念賞・北岡幸男(物部)松本俊吾(立田)徳橋直人(久礼田)溝渕ゆき子(浜改田)中田浩(後免)三谷春実(久礼田)池添都江(田村)岡田節子(立田)大石博之(大地)上岡由香里(植野)高橋伸輔(植野)坂野けい(片山)西田憲正(大地)村田亀美代(十市)村田明子(植野)高橋佐知(植野)岡沢信仁(立田)岡田知恵(後免)坂野正明(片山)田村みき子(岡田)

第二十八回の正解発表

●こたえ・十一月〇日、●(本)恒星三千六十票、でした。

●特賞・千円、細木慶子(大桶)島崎秀典(大地)田中慎子(物部)

部落解放への道



解放令の

もたらしたもの

明治四年八月に出された解放令はその後、部落の人びとにどのような影響をもたらしたであろうか。結果論になりますが、解放令は実際にはなんらの改革をもたらさなかったのです。それどころか部落大衆をさらにきびしい差別と生活困難におとしめてきたといえます。前の項でのべたようにこの解放令は外国との交際上国の体面を保つため、富国強兵、殖産興業の国是を推進する方策の一つとして（お上のついで）出されたものであったため、大江卓などの立派な建議は無視され、たんに一片の布告にしかすぎず、差別と貧困に苦しんできた部落の人びとには仕事や金銭や土地など経済面での援助はなにも一つ保障されませんでした。それどころか、法の上で一人前に扱われる税金を納め、兵役に服せよといった義務だけが負わされた。そのうえ徳川時代には部落の人のみの特権として認められていた皮革加工の仕事は、急速に西洋化する社会風潮のなかで靴、か

ばんなどの需要が急増するの目につけた資本家の近代工場の進出によってつぶされてしまい部落の多くの人は失業し、封建時代より以上のみじめな生活に追いこまれました。解放令を出しておきながら、このように部落差別を残すようなことをなせましたでしょうか、さきにも書いたように欧米諸国に追いつくため殖産興業を盛んにし、

しかし明治の新しい時代に入ってきたような新政府の政策によって生活が苦しくなったのは部落の人たちだけではありませんでした。明治六年に農民に土地の完全私有権を認めさせられておいて、明治八年には地租税を土地の売買価格

の百分の三に改め金納にするという重税を新政府は農民におしつけたのです。これに反対する農民一揆が全国各地におこりましたが、その一揆のなかで部落解放令に反対して部落を襲撃したものもありました。高知県でも明治四年の十二月頃高岡、吾川、土佐の三郡の一部で農民一揆がありました。その一揆の趣意書の一節に「解放令を出したことは我々百姓を部落民の身分におとしたことになると承知できない」ということが書かれています。このことは、それまで部落の人たちを見下していた農民が解放令によって部落の人と同等になったことは自分たちの身分が下げられたことと同じであり、

12月定例市議会

一般 二億二千万円を追加

水道事業は繰り延べ

十二月定例市議会は十二月十二日から十六日までの五日間の会期で行われ、一般会計補正予算、市職員給与改正、市税条例の一部改正など議案十三件、報告一件を可決、承認

議会議長の猪野茂行氏（公明党）にすることに同意、申し合わせによる常任委員会の委員をそれぞれ選任、議員提案の「国立医大設置」特別委員会の設置など七件を可決しました。

また、議員提案の「教職員の定員増に関する意見書」を否決、四十七年度一般会計などの決算認定を継続審議（水道企業会計は九月に認定済み）としました。この議会は十二月三十一日任期が満了する金堂市政の最後の議会となりましたが、金堂市長は「糖尿病で一週間の安静加療を要す」という医師の診断書を添えて欠席したため、徳橋助役が代って提案理由を説明しました。なお、議員提案の「国立医大設置特別委（委員長沢村武一）」

今までより一層貧しい生活に追いやられると思ひこみ、部落の人たちも農民たちも共に苦しめられていることに気がつかなかつたからです。この考え方が部落差別をのちのちでも支えることになるのですが、このため部落の人々は生活のためきちんとした仕事につけず条件の悪いところで、安い賃金で働くしか生きる方法はありませんでした。このことは、その後、日本経済社会の発展の中で部落の人たちが、多くの働く庶民大衆の低賃金の支えとしての役割を担われ近代的な産業からしめ出され、みじめな貧乏な生活をせざるを得ない状態に追いこまれたのです。明治百年以上経た今日でも未解放部落として残り残された主な原因は、明治の解放令のあとに政府の行政施策の貧困（皆無）にあるのです。今日ようやく政府もこれに気づいて（気がつかされて）同対特別措置法を施行するようになったのですが、本来これは百年前にやるべきことだったのです。

たのですが、この武士階級の人々に対して新政府は明治八年に、当時の金で二億一千余万円（現金で三千数百万円、株債公債で一億七千数百万円）という莫大なお金を出してその生活を保障し債券には年八分の利子をつけたので身分の高い武士は利子だけでも生活出来たしその他の下級武士でも職人の一日の手間賃が四十銭（今日では大工や左官の手間賃は四百円以上）位の時代に数百万円以上もったので、ある者は土地や山林を買って地主になったり、会社に投資して資本家になったものも沢山あります。そのうえ田武士は新政府の官吏に優先採用され、足軽などでも警察官に登用されるなど手厚く保護されておりました。

は、国立医科大学の建設予定地に岡野町小連が本決りになったためのもの。「市民会館用地調査特別委（委員長橋本二三）」は、市民会館の用地として開発公社から取得した用地取得に関する調査、「四十七年度同対事業調査特別委（委員長島内正雄）」は、さる九月の定例会以来、問題となつていす同対事業について、地方自治法百十條に基づいて調査にあたるため設置されたものです。

員もこれに準じて改正されたもので、四月からの差額分を十二月に支給することにしたもの。そのほか、老人医療費の補助五百万円、乳児の医療費補助二百万円、白木谷のゴミ埋立地工事三百七十七万円、香南清掃組合の負担二千二百万円、園芸作物などの作付転換補助九百七十二万円、坪池前東線の舗装四百二十四万円、田村藤の宮線改良百五十万円、浜改田、東坪池の排水路など三百八十九万円、河川美化の補助二百五十万円、香南中建設用地購入の補助二百五十七万円、蒲原公民館百五十万円、借入金返済する元金と利子九百一十万円、コヤシタ堰、亀水琴平線などの災害復旧のため四百七十五万円などとなっています。

新しい起債は都市計画事業に二千二百五十万円、香南中学校建設のための追加八百万円などです。

封建時代には「切り捨て」などの特権を与えられ民衆の上にあぐらをかいて威張っていた武士階級も廢藩置縣によって職を失っ

たので、この武士階級の人々に対して新政府は明治八年に、当時の金で二億一千余万円（現金で三千数百万円、株債公債で一億七千数百万円）という莫大なお金を出してその生活を保障し債券には年八分の利子をつけたので身分の高い武士は利子だけでも生活出来たしその他の下級武士でも職人の一日の手間賃が四十銭（今日では大工や左官の手間賃は四百円以上）位の時代に数百万円以上もったので、ある者は土地や山林を買って地主になったり、会社に投資して資本家になったものも沢山あります。そのうえ田武士は新政府の官吏に優先採用され、足軽などでも警察官に登用されるなど手厚く保護されておりました。

は、国立医科大学の建設予定地に岡野町小連が本決りになったためのもの。「市民会館用地調査特別委（委員長橋本二三）」は、市民会館の用地として開発公社から取得した用地取得に関する調査、「四十七年度同対事業調査特別委（委員長島内正雄）」は、さる九月の定例会以来、問題となつていす同対事業について、地方自治法百十條に基づいて調査にあたるため設置されたものです。

員もこれに準じて改正されたもので、四月からの差額分を十二月に支給することにしたもの。そのほか、老人医療費の補助五百万円、乳児の医療費補助二百万円、白木谷のゴミ埋立地工事三百七十七万円、香南清掃組合の負担二千二百万円、園芸作物などの作付転換補助九百七十二万円、坪池前東線の舗装四百二十四万円、田村藤の宮線改良百五十万円、浜改田、東坪池の排水路など三百八十九万円、河川美化の補助二百五十万円、香南中建設用地購入の補助二百五十七万円、蒲原公民館百五十万円、借入金返済する元金と利子九百一十万円、コヤシタ堰、亀水琴平線などの災害復旧のため四百七十五万円などとなっています。

新しい起債は都市計画事業に二千二百五十万円、香南中学校建設のための追加八百万円などです。

☆☆☆



国民年金の受給権者は現況届を

年金の支払いが年四回の支払期月毎に行なわれていますが、今後とも引続き年金をうける権利があるかどうかを確認する必要があります。

この確認のため、受給権者は毎年一回生存の事実について、市町村長より「国民年金受給権者現況届」に直接証明をうけるか、または住民票の抄本などを添えて、老令年金、通算老令年金の受給権者は二月十五日までに社会保険庁へ、その他の年金受給権者は三月三十一日までに市役所へ提出していただきます。この現況届が提出されませんと六ヶ月の支払い分から年金支給が停止されることとなります。

「わが家の家計簿」
市民課
体験談募集

あなたの貴重な体験を文章にまとめて、記帳方法の改善に苦しんでいる人たちの参考にしてあげてください。

お年玉賞品の引換え

■年賀はがきのお年玉抽せん会は1月15日の成人の日に行なわれました。引換え期間は1月20日から7月19日までです。当選したはがきは、番号の部分の切り離さずにお近くの郵便局でなるべく早くお引換えください。

■書き損じたはがき類の交換
郵便はがきを書き損じたり、印刷を誤ったのは新しいはがき類と交換いたします。なお、手数料を次のとおりいただきます。
通常はがき（お年玉つき年賀はがきを含む）1枚につき2円
往復はがき 1枚につき4円

○家計簿をつけ始めた動機や記帳上の苦心談
○家計簿をつける喜びや家族の人の協力の模様
○家計簿で発見したムリやムダ
○家計簿によって予算生活をした結果、消費内容に生じた変化
○最近の物価高を家計簿記帳により、うまく乗り切った体験
○家計簿をもとにした、これからの明るい生活設計
など、家計簿記帳に関するものを何でも自由に書いてください。

原稿
①本文は四百字詰原稿用紙五枚（三千字）以内、本文のほか、月別項目別支出一覧表を添付のこと（記帳歴一年以上の人は最近一年分）
なお、できれば記帳内容のわかる他の参考計画表を添付すること
②原稿には、応募者の住所、氏名

秀作 十編 賞金 各三万円
佳作 三五編程度 賞金 各一万円
応募者には家計簿を贈呈する
入選発表
昭和四十九年六月中旬、入選者に直接通知するほか、NHK放送などで発表
送り先
高知市本町日本銀行高知支店内
高知県貯蓄推進委員会

（ふりがな）、職業、年令、同一家計でくらす家族名（応募者との続柄、年令、職業、就学状況など）家計簿記帳年数、および連絡電話番号を記載すること。
③封筒には家計簿体験談と明記すること。
④応募原稿は返さない。原稿締切
昭和四十九年二月二十八日
入選
特選 五編 賞金 各五万円

一月一日号「こんにちわ」欄の武市充代さんが浜田充代さんとなっていました。訂正しておわびします。



生活再建のために 貸付金の利用を

なにか仕事をして生活の再建をはかりたいが、必要な資金を借りる道がなく困っている人のために世帯更生資金があります。

昭和48年度から貸付限度額がつきのように改正になりました。
1、生業費、身体障害者生業費
20万円が25万円に
40万円が50万円に（特に必要と認められる場合）
2、福祉資金のうち「転宅に際し必要な経費」
1万8千円が2万5千円に
3、災害援護資金
15万円が20万円に
なお貸付の決定は高知県社会福祉協議会で行なっていますが、くわしいことは、近くの民生委員、市役所社会福祉協議会へご相談ください。

世帯更生資金貸付条件一覧表

資金種類	貸付限度	据置期間	償還期限	貸付利率
更生資金	生業費 (特別) 250,000円以内 500,000円以内	1年 以内	6年以内	年3%
	支度費 30,000円以内	6ヵ月以内		
身体障害者 更生資金	生業費 (特別) 250,000円以内 500,000円以内	1年 以内	8年以内	年3%
	支度費 30,000円以内	6ヵ月以内		
生活資金	技能習得費 月 3,000円以内	知識技能習得期間満了後 6ヵ月以内	5年以内	年3%
	生活資金 月11,000円以内	知識技能を習得する期間満了後、 または療養資金最終貸付日から 6ヵ月以内		
福祉資金	50,000円以内	6ヵ月以内	3年以内	年3%
住宅資金	300,000円以内	6ヵ月以内	6年以内	年3%
修学資金	修学費 高校 月 3,000円以内 (特別) 月 4,000円以内 短大、高専 月 7,000円以内 (特別) 月 9,500円以内	卒業後	8年以内	無利子
	就学支度費 30,000円以内	6ヵ月以内	8年以内	無利子
療養資金	(特別) 100,000円以内 150,000円以内	6ヵ月以内	5年以内	年3%
災害援護資金	200,000円以内	1年 以内	6年以内	年3%

を通じて配付していただき、各農家から申請書の提出を願っておりますが、まだその申請書を出されていない人は、早く提出してください。申請書は提出しなければならぬ人は、農地十アール（一反）以上の面積を耕作している農家の人（成年者）です。

これまで、農業委員は無投票の年が多かったわけですが、昭和四十九年の改選には、社会情勢の変化にともない、投票がおこなわれる公算が非常に強いと考えられますので特に抜かりのないよう提出してください。また縦覧期間には縦覧のうえ登録を確認してください。

《選挙管理委員会》
《農業委員会》

児童手当の支給範囲拡大

児童手当の支給対象範囲がことし四月から大幅にひろがります。これまで、児童手当の支給をうけるのに必要な条件は、①十八歳未満の児童を三人以上養育しており、そのうち一人以上が十歳未満の児童であること、②その人の収入が一定の額に満たないこと、
以上二つの要件でした。
この二つの要件のうち①の要件が大幅に緩和され、「十八歳未満の児童三人のうち、一人以上が義務教育終了前」であれば手当が支給されるようになります。

《市民課》
市民課給付係 (TEL三二二二一、内線一三三)へ。
なお、公務員と三公社に勤めている人は勤務先に申請してください。

農委 農業委員の選挙人名簿の申請

毎年一月一日現在の状況で農業委員会委員選挙人名簿の作成がえがおこなわれています。そのため申請用紙を各部落連絡員さん

5(火)	胃検診・8.00~10.00国府農協支所 不燃物の収集(里改田、片山)
6(水)	胃検診・8.00~10.00三和地区公民館 3歳児検診・10.00~11.30十市公民館 } (44.11.1~46.1.31生) 3歳児検診・1.00~2.30 稲生小学校 } 不燃物の収集(浜改田)
7(木)	乳児検診・1.30~2.30中央公民館 胃検診・8.00~10.00市役所 不燃物の収集・前浜(下島里、下島浜、久枝を含む)
8(金)	乳児検診・1.30~2.00南部福祉館(47.11~48.12生) 胃検診・8.00~10.00市役所 不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)
9(土)	不燃物の収集(篠原、明見)
⑩(日)	休日在宅医・山本内科(後免) 4-2576
⑪(月)	休日在宅医・吉本小児科(後免) 4-2465 不燃物の収集(物部)
12(火)	不燃物の収集(稲生)
13(水)	3歳児検診・10.00~11.30、1.00~2.30中央公民館(44.11.1~46.1.31生) 不燃物の収集(能間、野田口、城陸、朝日町)
14(木)	乳児検診・1.30~2.30日章公民館(48.1~48.6生) 不燃物の収集(稲吉、西窪、新川、鈴江)
15(金)	不燃物の収集(野中、南小菟、北小菟、祈年団地含む)
16(土)	不燃物の収集(宇田、東崎東部、西部、中部、祈年)
⑯(日)	休日在宅医・山本医院(後免) 4-2545
18(月)	不燃物の収集(野田)
19(火)	不燃物の収集・(東町、横町、中町、中ノ丁)
20(水)	不燃物の収集(西町、栄町)
21(木)	不燃物の収集(陣山、三島、上末松、下末松、西山、上廿枝西島、古市)
22(金)	不燃物の収集(植野、領石)
23(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)
⑳(日)	休日在宅医・谷医院(片山) 5-8335
25(月)	3歳児検診・1.30~3.00後免中町公民館(44.11.1~46.1.31生) 不燃物の収集(国府、岩)
26(火)	乳児検診・2.00~2.30長岡中央福祉館(48.3~48.12生) 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)
27(水)	乳児検診・2.00~2.30長岡東部公民館(48.3~48.12生) 3歳児検診・1.30~3.00日章公民館(44.11.1~46.1.31生) 不燃物の収集(中島町、沖、三島、常通寺島、吉田、江村、小菟)
28(木)	離乳食講習会・1.30~3.00中央公民館(48.5~48.11生) 不燃物の収集(植田、久礼田)

2月5日~2月28日



こくちへん

ムダへの提言

最近の物価高は家計をあずかる主婦にとっては頭の痛いことです。豊かさに慣れた私たちですが、環境汚染、物価上昇に関連して、使い捨てや浪費を反省し、「むだをなくする運動」が進められています。

▽買い急ぎをやめましょう。

買物をする前に、「ちょっと待て」とまずよく考える習慣をつけ買い控えの実行をしましょう。

▽買った物は大事に使いましょう。

買い控えのため、まず眠っている品(埋蔵品)の再点検をし、衣料品など再利用を考えましょう。

▽ゴミになる包装は買わないようにしましょう。

中味を買っているのか、包装・ゴミを買っているのかわからない包装商品もあります。内容本位の買い方をしましょう。

48年12月の交通事故

	件数	死者	傷者
48年12月の事故	19件	0人	29人
47年12月の事故	43件	2人	63人
48年の累計	422件	7人	606人